

語 研 便 り

大東文化大学 語学教育研究所 広報 (2023 年 11 月)

研究発表会のお知らせ

2023 年度、第 3 回研究発表会を下記のとおりオンラインで開催いたします。
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時：**2023 年 11 月 27 日(月) 午前 11 時 00 分～**

参加方法：本発表会は学内限定で Zoom を使用して開催します。

Zoom の URL、ミーティング ID 等は別途メールでお知らせします。

ご不明な点は、語学教育研究所までお問い合わせください。

①発表者：**秋山 淳 先生 (外国語学部 中国語学科)**

題 目：**中国語の結果複合動詞について**

—日本語の結果複合動詞との対照を通じて

概 要：本発表は、認知言語学、特に因果連鎖の観点から、中国語の結果複合動詞(動詞+結果補語：“打死”「殴る+死ぬ」など)と日本語の典型的な結果複合動詞(「切り倒す」など)を比べると、日本語の典型的な結果複合動詞は動作行為を表す V1(<ACT>)+使役他動詞(<CAUSE+BECOME>)の組み合わせであるのに対し、中国語の結果複合動詞は動作行為を表す V1(<ACT>)+自動詞/形容詞<BECOME/BE>の組み合わせであり、使役の意味は百科辞書的知識から獲得されると主張するものである。

②発表者：**フランソワ ルーセル 先生 (外国語学部 英語学科)**

題 目：**なぜ、海外に「リセ・フランセ」(フランス学校)を作るのか？**

「リセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京」の場合

概 要：外国人学校は、2 国間の関係のあり方を反映する貴重な存在である。世界各地の外国人学校には長い歴史がある一方、この歴史は、日本における外国人学校の歴史も含め、これまであまり研究されてこなかった。今回は、1967 年に創立された「リセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京」の創設者たち(実業家、外交官、一般市民)が、どのような動機で行動を起こしたかに焦点を絞って研究してみたい。リセの誕生以前、フランス式教育を受けることができる学校が、東京には既に存在していた。それにもかかわらず、新しく学校を作ることにした理由は何だったのか。

以上

[問い合わせ先] 語学教育研究所 E-mail: daitogoken@gmail.com